【要約版】

正副議長定例記者会見（令和８年９月定例会）

日　時：令和８年 10 月６日（火）13:15～13:30
場　所：観光スポーツ文教警察委員会室

松尾議長



松下副議長



（南海放送：幹事社）
定刻になりましたので、正副議長の記者会見を始めさせていただきます。
なお、議長は次の公務がございますので、記者会見の時間は 13 時 35 分までとさせていただきます。
はじめに議長からご挨拶をお願いいたします。

（議長）
皆さんこんにちは。
９月定例県議会もおかげさまで無事終了いたしました。
それを受けての定例記者会見です。どうぞよろしくお願いいたします。
今議会ではご案内の通り防災減災対策をはじめ、地域経済の活性化対策として首都圏や近隣県からの誘客促進政策などもございましたし、ＡＩやＩＴまたデータセンターなどの誘致、こういったことにも予算をおさえていることでございまして、そういった地域経済の活性化に向けても予算がしっかり組まれているというふうに認識をしております。
またそれ以外でも、資材の高騰や労務費等の急騰、入札直前の中東情勢などによって中止になりました今治病院の再入札に向けての準備等も進められまして、昨日実は市長会が今治でありまして、大変このことについては、我々県議会議長に対しても今治の皆さんからお礼を言われたようなこともございました。
また、その他には介護支援専門員の安全確保対策や役割の浸透を図るための周知啓発活動、また県有施設のＬＥＤ化など当面する諸課題にしっかりと対応できた予算になっているというふうに思います。
それ以外では、私も６月に派遣をしていただきましたけれども、Velo-city が来年５月に行われますけれども、日本で初めての開催ということに向けての準備、また、それ以外のいろいろ当面する課題に対しての議論が委員会の質疑等でもしっかりと行ったという認識をしております。以上です。

（南海放送：幹事社）
ありがとうございます。
続いて副議長からお願いいたします。

（副議長）
私もこの議会ではですね、当面する課題、特に農林水産業ではですねエネルギーの高騰に対する助成でありますとか適宜措置をしていただいておるというふうに感じております。
またですね、データセンターについていろんな意見もございましたけれども、経済効果を考えると地方にとってはこれから必要なものではないかというふうに考えておりまして、これらの予算措置を適宜されておるというふうに考えております。
今回もいろんな議論を交わされてですね、一定以上の成果をあげることができた議会ではなかったかというふうに思っております。以上です。

（南海放送：幹事社）
ありがとうございます。
続いて代表質問に参ります。
今月告示、来月投開票の知事選がございますが、どのような論戦を県議会として期待するのか、議長お願いいたします。

（議長）
はい。
ご案内のとおり、三つ巴の公算が高いという、中村知事におかれてはまだ正式に表明されておりませんけれども、我々議会といたしましては、よく言われる二元代表制の中で、いわゆる議会と対する知事選というのが行われるということでありますので、しっかりとした論戦が交わされると期待したいというふうに思います。
現職の中村知事もですね、いつも言われるように明確なビジョンを示すことができなければ立候補する資格がないというふうに言われますけれども、こうした将来この愛媛をどうしていくのかというビジョンをしっかりとどの候補者からもですね、示していただいた上で、論戦が交わされることを期待をしたいというふうに思います。
特に、私は防災減災対策や少子化・人口減少対策、また、福祉の政策、いろいろと重要課題が当然あるわけですけれども、松山の市長選も相まってですね、若い皆さんが県外流出をしていくというふうなことが一番の課題であるというふうに思います。
我々県議会としても、主権者教育等を通じて政治に対して関心を持っていただくということに取り組んでいるところでありますけれども、今回の知事選を通じても、若い皆さんにこの愛媛には楽しみがあるよと、みんな若い人が残ってこの愛媛の未来あるよというような希望を抱かせて、若い皆さんに関心を持ってもらえるような議論が交わされたらいいなというふうに思います。

（南海放送：幹事社）
ありがとうございます。副議長はどうですか。

（副議長）
先ほど議長が言われましたように、私も議会の改革協の一員として愛媛大学にも行かせてもらったんですけど、若い皆さんがですね、これからの愛媛県がどうなるのかと、また、より良くなる未来をですね具体的に示していただいて、投票にもですね、特に若い世代の人たちへですね足を運んでいただけるようなそういった論戦をですね、やっていただけたらというふうに思います。

（南海放送：幹事社）
ありがとうございます。
ただいまのお答えにつきまして質問がありましたら各社さんお願いします。
質問に際しては、社名及び記者名をお願いいたします。

（愛媛新聞）
愛媛新聞です。
よろしくお願いします。
関連してなんですけど争点がなんだというふうに、お二方考えていらっしゃいますでしょうか。

（議長）
いろいろあると思いますけど、今申し上げましたように防災減災対策、熊本地震もありますし、この夏だけでも全国各地でこれだけ豪雨災害が発生してる中で、どう防災減災対策を進めていくのかっていうことも大きな争点の１つというふうに思います。
そしてもう１つは、やはり今、先ほど申し上げました若い皆さんっていうか人口減少対策をどうしていくのか、これは愛媛だけではなくて地方全体の課題ではありますけれども、愛媛県として他県よりも先んじていろいろな手を打ってですね、どうすれば若い人が残ってくれるんだろうというような視点に立った議論が我々としても聞いてみたいなというふうには思います。

（副議長）
やはり人口減少ということでですね、全体に漠然とした不安を県民、私どもも含めてですね持っていると思います。
それに対して、より具体的な政策とか、目標、そういうのを掲げていってもらってですね、そういったところが論点になってくるのかなというふうに思うと同時にですね、もう１点は、県民所得の向上ということを中村知事も掲げておりますけれども、こういった具体的な政策でですね、考えていこうとされると、こういったところは論戦になるんではないかなというふうに思います。

（議長）
人口減少対策もそうですけれども、もうすでに人口減少の歯止めがかからなくなっていることはご案内のとおりでありまして、人口減少が必ず進んでいくという前提に立って、これからこの愛媛県や日本がどうやって飯を食っていくのか、どういうふうにこの社会を維持していくのかっていうようなことも踏まえてですね、人口

が減っていく前提に立って高齢化もどんどん進んでいくことを踏まえた上でのこの社会をどうつくって維持していくのかっていうような議論をそろそろ政治の場で行われるべき課題になってくるのではないかなというふうには思います。

（愛媛新聞）
今の松尾議長のお話ですけれども、なかなか今、実際に社会が縮んでいく中で、じゃあどうやってインフラとかサービスとか維持しているのかという議論はタッチしづらいというか、特に政治の場でやりづらいと思うんですけど、そういった議論に関しては、今回の知事選を契機により深まればというような感じですか。

（議長）
そうですね、今回の知事選っていうのは１つの契機になってもいいんじゃないかなと思うのは、やはり将来の人口推計とかも県も国も発表した中で、やはり大幅にこれまで 10 年 20 年取り組んできた人口減少対策を踏まえた上でも、さらに、2060 年 78 万人の想定から 65 万になるというようなさらに減少の幅が広がるっていうことを受けてですね、本当に今のままの人口減少対策こうします、防災減災対策でこうしますという議論だけで果たしていいのかっていうことは、そろそろ考えなきゃいけないんじゃないかなというふうに思います。

（愛媛新聞）
ありがとうございます。

（南海放送：幹事社）
ほかにいかがでしょうか。

（読売新聞）
読売新聞です。
閉会のときに、知事もこれまでの４年間のお話をされておられたんですけど、それぞれ知事の４年間を振り返って、どのような評価をされておりますでしょうか。

（議長）
４年前、知事もおっしゃってましたけれども、コロナ明けでいろいろ対策をビジョンを示して取り組んでこられた、その目標を定めた中で、いろんな施策を講じてきたという意味で、できたこと、途上のこと、できなかったことありますけれども、目標を県民に示して行動してこられたというのは評価したいというふうに思います。
特に、日本で初めての Velo-city を誘致したりですね、観光で韓国便含めて国際便を松山空港で就航させて、インバウンドも過去最大になっているというようなことも含めて、愛媛県を国内のみならず、世界にも発信しているということで評価もあるんじゃないかなというふうに思います。
一方で、防災減災対策もしっかりと、南予の西日本豪雨からの復興に向けても毎年度予算確保されて、しっかり取り組んでこられたということも評価したいと思います。

（副議長）
　コロナ明けからの対応ということになりますけれども、その前のコロナのときに素晴らしい対応されてきてですね、その後これからの愛媛県ということを明確に示された。
　また、正直にできなかった取組みを表明されてですね、そういった姿勢には評価すべきところが大いにあるんじゃないかというふうに思いますし、なかなか難しい課題にもチャレンジ、特に先ほど言いました県民所得の関係なんかはなかなか上がってこなかった課題も、取り上げてこなかったものを敢えて取り上げて進む姿勢にはですね、高く評価するものもあるんじゃないかというふうに思います。

（南海放送：幹事社）
　代表質問以外でも構いませんので、質問のある社はお願いします。

（愛媛新聞）
　1問だけ。今回の議会での予算のデータセンターの誘致に関連してっていう話があると思いますので、議会の質問でも自民党の代表質問でデータセンターについてお話があって、やっぱ原発立地県として選ばれなかったことですね、知事に関しても自民党会派にしてもやはりちょっと違和感があるというご発言あったと思いますが、その点についてどう受けとめられたかっていうのが1つと、あと例えば国とか事業者に対してですね、議会としてはどうやってこう関わっていくのかっていう、何かお考えがありましたら教えていただきたいです。

（議長）
　議長としてでいいですか。
　いろんな意見がありますから、議会のなかには。
　議長の記者会見として、ご案内のとおり反対の議員さんもおられる議会でありますので、なかなかコメントは難しいなと思いますが、概ね自民党の会派の代表質問等でも出たような意見が議会の中でも大勢を占めるんじゃないかなというふうには思います。
　今後、意見書とかをもし出すのであれば、その議会として判断されるのではないかなというふうに思います。
　議長としてはコメントしづらいところではあります。

（愛媛新聞）
　わかりました。

（南海放送：幹事社）
　よろしいでしょうか。
　それでは以上で、正副議長定例記者会見を終了いたします。
　ありがとうございました。

　※議事録については、読みやすさや分かりやすさを考慮し、発言の趣旨等を損なわない程度に整理しています。